

DX Report 2026

ニデック DXレポート



目次

トップメッセージ

- 02 デジタル未来への舵取り
- 02 DX の軌跡

会社情報

- 03 設立の目的
- 03 ニデック SDGs宣言

DX 推進体制

- 03 組織体制
- 03 ITシステム・デジタル技術
活用環境の設備

DX 戦略

- 04 顧客情報の価値化
- 04 全社システムの最適化による生産性向上
- 04 サービスのデジタル化推進
- 04 IT 人材育成

編集方針

株式会社ニデックは、いつの時代も存在意義のある企業で在り続けるために、「Eye & Health Care」を核とした事業をグローバルに展開するとともに、国内外の法令の遵守はもとより、高い倫理観と公平性を持って行動し、持続可能な社会の発展に貢献することを念頭に置いて事業を推進しています。

ニデックDXレポートは、さまざまなステークホルダーの皆さまに、当社のDXへの取り組みに関する企業の活動内容をお伝えすることを目的に作成しました。本レポートは、2024年～2025年度の情報をまとめたものです。

本レポートの配色は、「カラーユニバーサルデザイン推奨配色セット」(制作:カラーユニバーサルデザイン推奨配色セット制作委員会)を参考に作成しています。(URL:https://cudo.jp/?page_id=1565)

本レポートは、ユニバーサルデザイン(UD)の考え方にに基づき、より多くの人へ適切に情報を伝えられるよう配慮した見やすいユニバーサルフォントを採用しています。



ニデックDXレポートプロフィール

報告対象組織

株式会社ニデック

報告対象期間

2024年4月1日～2026年3月31日

公開形態

ウェブサイトにて公開

お問い合わせ先

株式会社ニデック 経営企画本部 秘書広報課

TEL : 0533-67-6611(大代表)

E-Mail : info@nidek.co.jp

当社に関する詳しい情報は、ウェブサイトをご覧ください。



web

<https://www.nidek.co.jp>

トップメッセージ

「みる」喜びと健康を
技術で支え、
変わらない安心を
世界へ届ける。

代表取締役社長

小澤 素生



デジタル未来への舵取り

デジタル技術は飛躍的に向上し、私たちの生活を一変させてきました。AI・IoT・自動化等のデジタル 技術革新はアイケア領域でも大きな変化をもたらしています。このような環境の中ニデックでは、デジタルの進歩が社会全体に及ぼす影響を認識し、私たちの使命である、世界中の多様なユーザーに「みる」ソリューションを提供することを果たすため、DXを推進しお客さまの課題解決に取り組んでいます。

DXの軌跡

DXを推進するための基盤づくりとして、当社では資格取得支援規程を整備することで、ITパスポートの取得を支援するとともに、全社員を対象とした動画視聴型の教育を実施し、全社的なITリテラシー向上に取り組んできました。

また、情報セキュリティ強化の一環として当社では、標的型メール訓練を2023年から開始し、2025年からは海外子会社にも対象を広げて実施し、グループ全体での向上を進めています。

あわせて、経営層および管理職に対してはDXマインドの醸成を目的とした教育をおこない、DXに対する理解と意識の向上を図っています。

さらに、DX推進に向けた具体的な取り組みとして、顧客情報の価値化を目的としたプロジェクトを発足し、部門間で連携した検討・活動を開始しています。

会社情報

設立にあたって定めた事業の目的をふまえ、ニデックSDGs宣言を策定・発表しています。

設立目的

設立にあたり、当社は事業の目的を次のように定めました。この「設立の目的」は、当社が事業を展開する上で常に尊重されるものであり、いつの時代でも大切にすべき原点です。詳細は弊社ウェブサイトをご覧ください。
(<https://www.nidek.co.jp/spirit/>)

事業の目的

- (イ) invisible to visible (見えないものを見えるようにする機器)
- (ロ) visible to recognition (見えたものの認識・判断する機器)
- (ハ) eye instruments (眼に関連する機器)

ニデックSDGs宣言

国際連合が提唱する持続可能な開発目標(SDGs)の趣旨に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、2021年8月に「ニデックSDGs宣言」を策定しました。

『「みる」喜びと健康を技術で支え、変わらない安心を世界へ届ける。』を10年後の当社の存在意義としました。「多様性社会との共存」「環境配慮と資源循環」「予防医療を促進する社会づくり」「目に疾病のある方を支える」に取り組むために4つの課題を設定し、明るい未来の実現に貢献いたします。宣言の詳細は弊社ウェブサイトをご覧ください。(https://www.nidek.co.jp/wp-content/themes/NIDEK/img/nidek_SDGs_2021_J.pdf)



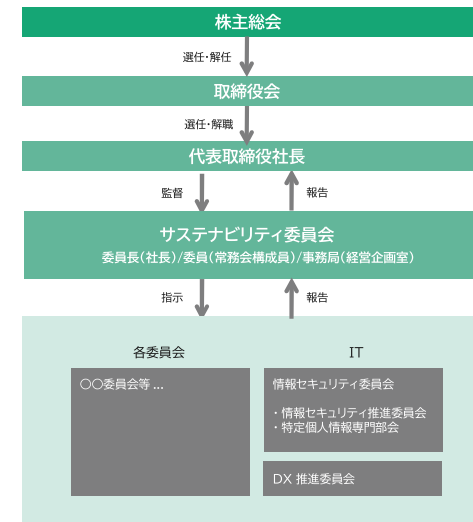
DX推進体制

全社でDXを実現するため、組織体制やITシステム・デジタル技術の活用環境を整えています。

組織体制

サステナビリティ委員会(旧CSR委員会)の直下に情報セキュリティ委員会とDX推進委員会を設置し、全社的にDXを推進しています。

委員会体制図



ITシステム・デジタル技術活用環境の整備

DXの実現に向け、デジタル改革を推進するための組織を設置し、デジタル技術を活用した業務プロセスの再構築に取り組んできました。

近年では、全社的な業務改革・事業変革を推進するため、DX推進部署を経営企画本部に移管し、経営戦略と一体となった推進体制を整備しています。

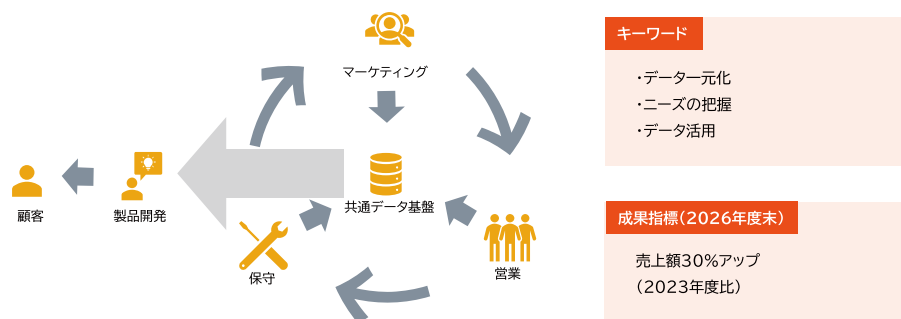
また、全社のITリテラシー向上に向けた組織・制度の整備に加え、データの一元化やデータ活用人材の育成、セキュリティ対策の強化など、DXを支える基盤整備を進めています。セキュリティ面では、サイバー攻撃発生時に迅速かつ適切に対応するため、サイバーインシデント対応フローを策定し、社内体制と対応手順の明確化を図りました。

DX戦略

当社はいつの時代も存在意義のある企業で在り続けるために、DX戦略を策定しています。各戦略に沿ってDXを推進し、更なる企業価値の向上を目指します。

顧客情報の価値化

各部門が保有する顧客情報データを一元化し、市場からのフィードバックを蓄積する。市場のニーズを的確に把握し、より市場から求められる製品開発を実現する。



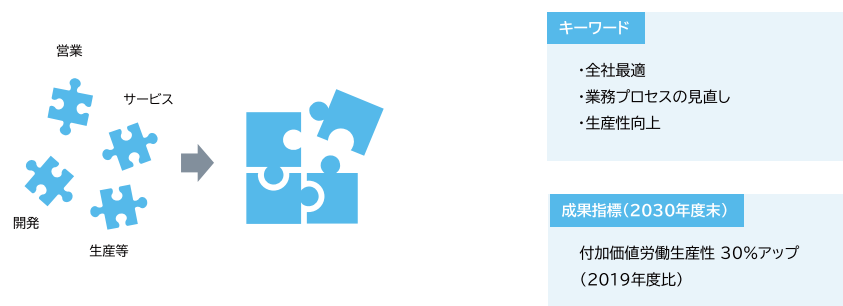
サービスのデジタル化推進

ウェブサイトや製品のリモート機能の充実化を通じて、当社の製品・サービスを利用される皆さまとのコミュニケーション体制やサポート体制を構築し、サービスの質の向上を図る。



全社システムの最適化による生産性向上

ICT技術を有効活用した業務プロセスの見直しを実施し、全社システムとデータを最適化することによって生産性を向上させる。



IT人材育成

ITリテラシーの底上げとデジタル専門人材教育を実施し、顧客や自社に価値を提供できる人材を育てる。

